

平成19年度日本学術会議情報学委員会および情報処理学会共催講演会  
「情報処理で社会を守る」

企画趣旨

近年の航空機、鉄道、通信の情報システム事故が与えた影響からも理解できるように情報システムはまさに社会インフラとして機能しています。そのような状況において、国民を中心とした暮らしの電子情報サービスシステム設計を最適に実現するには、どのようにあるべきかを、金融、物流などの意思決定者や責任者および産業界の受託側の意思決定者や責任者もまじえ、明らかにします。

日時：平成19年11月20日 午後1時30分から5時

場所：日本学術会議 講堂（東京メトロ千代田線乃木坂駅下車）

主催：日本学術会議 情報学委員会

共催：情報処理学会

申し込み（こちらのページの申し込みフォームをご利用ください）：参加無料，定員250名

<http://www.ipsj.or.jp/03somu/event/scj2007.html>

プログラム：

1. 開催挨拶 [13:30-13:35]

日本学術会議 第3部 情報学委員会委員長 坂内正夫（国立情報学研究所 所長）

2. 「社会情報インフラの安全と信頼」 [13:35-14:30（講演45分 質疑10分）]

日本学術会議 第3部 セキュリティ・ディペンダビリティ分科会

坂井修一（東京大学 教授）

3. 東証の次世代システムへの取り組みについて [14:30-15:00（講演25分 質疑5分）]

株式会社東京証券取引所 鈴木義伯 常務取締役（最高情報責任者）

東証の次世代システムへの取り組みについての紹介

次世代システム開発を通しての我が国IT分野への要望

休憩15:00-15:15

4. 物流業界が望むディペンダビリティ [15:15-15:45（講演25分 質疑5分）]

日本通運株式会社 佐野弘明 取締役執行役員（IT推進部 広報部 総務・労働部担当）

国内物流と海外物流における情報システムの安全対策事例紹介

RFIDなど新技術によるモノと情報の結びつけでの要望

5. 航空業界における情報システムの重要性とシステムが担うべきディペンダビリティについて

[15:45-16:15（講演25分 質疑5分）]

全日本空輸株式会社 岡田圭介 常務取締役執行役員 国際業務室・アライアンス室・IT推進室担当

航空事業やサービスを支えるITへの業務依存度は急速に高まり、ライフライン化してきている。

ITサービスを安全に維持・運営するための情報システムへの要望

6. 鉄道業界が望むディペンダビリティ [16:15-16:45（講演25分 質疑5分）]

東日本旅客鉄道株式会社 松本雅行 理事 電気ネットワーク部信号システム管理センター 所長

列車の運行から改札までの鉄道システムの事例

ニーズの多様化などによるシステム更新周期短期化の中で車両・信号・通信・電力など多岐の装置・システムの安定運営

輸送障害や改札・検札業務障害を起こさない情報システムへの要望